

平成29年度 第1回 大阪市社会福祉審議会高齢者福専門分科会介護保険部会 会議要旨

- 1 開催日時 平成29年7月20日（木） 14時～16時
- 2 開催場所 大阪市役所 屋上階（P1） 共通会議室
- 3 出席委員 12名
川井委員（介護保険部会長）、芥川委員、家田委員、大橋委員、木下委員、小谷委員、筒井委員、濱田委員、道明委員、光山委員、山川委員

4 議題

- 1 大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～32年度）の策定について
 - (1) 計画の総論・各論における項目（案）について・・・資料1-1
 - (2) 計画の骨子案について・・・資料1-2～資料1-3
- 2 大阪市介護保険事業の現状について・・・資料2-1～資料2-2
- 3 介護予防活動の推進（住民の助け合いによる生活支援活動事業）について
・・・資料3
- 4 介護保険給付にかかる費用の見込み等の考え方について・・・資料4
- 5 その他

5 配布資料

- 1-1 第7期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の総論・各論における項目（案）の新旧対照表
- 1-2 大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～32年度）骨子案（平成29年7月）の新旧対照表
- 1-3 大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～32年度）骨子案（平成29年7月）
- 2-1 大阪市介護保険事業の現状について
- 2-2 大阪市の要介護認定率、サービス利用等の現状について（区別版）
- 3 住民の助け合いによる生活支援活動事業について（案）
- 4 介護サービス見込み量の推計について

(参考資料)

- 1 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会介護保険部会委員名簿
- 2 第7期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定スケジュール（案）
- 3 基本指針について
- 4 介護保険制度に関する主な制度改正等について

6 会議要旨

【議題1】

○事務局から、資料1-1から資料1-3に基づき、大阪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成30年度～32年度）の策定について説明

（主な意見等）

- ・総論における第4章の項目の中に「施設調査」を追加したと説明があったが、介護保険施設及び福祉施設という解釈でよいのか。

【議題2】

○事務局から、資料2-1から資料2-2に基づき、大阪市介護保険事業の現状について説明
（主な意見等）

- ・訪問介護とサービス付き高齢者向け住宅の関係性について、計画的なものとは見受けられない。また、老人保健施設の稼働率が厳しくなっているため、その点を配慮し、今後の計画を立案してほしい。
- ・利用者1人当たりのサービス費用額について、要支援と要介護で全国と大阪市の費用額が入れ替わっている要介護度がある。何か原因があるのか、気にしなくてもいい数字なのか。
- ・実態として訪問看護の中で訪問リハビリを行っているケースが多々ある。今回の資料の中で訪問リハビリテーションとあるのは、訪問リハビリを単独で事業として行っているものの数なのか。

【議題3】

○事務局から、資料3に基づき、介護予防活動の推進（住民の助け合いによる生活支援活動事業）について説明

（主な意見等）

- ・この活動内容の中にある薬の受け取りについて、処方箋を持って薬を受け取るというのではなく、通院の同行のように、本人も一緒に店頭へ行き、残薬や副作用、調子の変化等の説明の手助けとして、同行しての受け取りという考慮をお願いしたい。
- ・活動者も活動のなかで体にいろいろ支障が出てくることが考えられる。その際の保険はどうなるのか。また、活動者と利用者は区内の者同士になるのか、区以外の者になるのか。プライバシーの関係からも一長一短だと思うが、よく考慮して進めていただきたい。
- ・活動者の方が個人宅に訪問することには問題があるように考えられる。介護施設等に訪問し、話し相手や掃除、洗濯を行うことはいいと思うが、家の中での活動、家の外での活動といった区分けは今後考えられるのか。

- ・現在の介護予防ポイント事業がうまくいっているからこそ、住民の助け合いによる生活支援活動事業を広めていこうとするなら、うまくいっている実証が見えない。
- ・この事業は日常生活支援総合事業でのB型になる訪問サービスとは違うものなのか。

【議題4】

- 事務局より、資料4に基づいて、介護サービス見込み量の推計について説明
(特に意見無し)